



01

ご挨拶

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期の業績は、新店の減少や既存店舗での周辺設備投資に対する慎重な姿勢や複数機種の発売のずれ込みなどにより、誠に遺憾ながら前年同期に対し減収減益となりました。引き続き業界環境は厳しいことが想定されますが、今後巻き返しにより業績の改善を図ってまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2016年12月

代表取締役社長 栢森 秀行

経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調で推移したものの、急速な円高による企業収益の悪化や設備投資の伸び悩み、中国をはじめとする新興国経済の減速など、景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の平成28年12月末を期限とした回収・撤去を控え、新店の減少や既存店舗での周辺設備の投資に対して慎重な姿勢は継続しており、事業環境は厳しい状況となっております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、平成28年5月に正式リリースした新型情報公開端末「REVOLA」の表示コンテンツの強化を行うとともに、パチンコファン向けアプリ「パチロボ」を大幅リニューアルし、ファンの利便性向上と機能拡張を実施しました。

制御システム事業におきましては、遊技性での差別化とコスト削減を目的とした開発工程の見直しに取り組みました。また、新機種開発の獲得に向け、企画提案を推進することにより、業績の向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高201億87百万円（前年同期比16.7%減）、営業利益6億5百万円（同25.7%減）、経常利益7億6百万円（同22.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億29百万円（同21.9%減）となりました。

財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加がありましたが、前連結会計年度の下半期に比べ当第2四半期連結累計期間の売上高が低調に推移したことによる売上債権の減少、スロット販売による製品の減少や税金等の還付による未収入金の減少があったことにより、前連結会計年度末に比べ9億72百万円減少の461億67百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、仕入債務の増加がありましたが、前連結会計年度末に比べ当第2四半期連結会計期間末の研究開発費に関する未払金の減少や、短期借入金の返済などにより、前連結会計年度末に比べ7億51百万円減少の170億97百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、利益の計上額より配当金の支払が上回ったことにより、前連結会計年度末に比べ2億21百万円減少の290億70百万円となり、自己資本比率は63.0%（前連結会計年度末比0.9ポイント上昇）となりました。

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月13日発表の業績予想に変更はありません。

●通期予想及び第2四半期連結累計期間における業績進捗率（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期連結累計期間	20,187	605	706	329
通期予想	50,000	1,000	1,000	600
進捗率（%）	40.3	60.5	70.6	54.8

本冊子に記載されている市場予測や業績見通しは、当社の経営陣が現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在的风险や不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。したがって、諸要因の変化により実際の業績は記載事項と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

セグメント別の状況

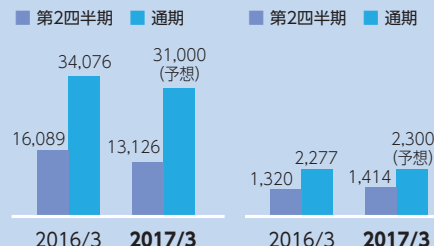
当第2四半期の営業概況

情報システム事業



売上高
13,126 百万円

セグメント利益
1,414 百万円



新店及び改装店舗数が減少した厳しい市場環境のなか、前年同期に比べ製品販売の売上高は減少しましたが、新製品である新型情報公開端末「REVOLA」が比較的好調に推移したことや研究開発費が前年同期に比べ減少したことにより、セグメント利益は増加いたしました。

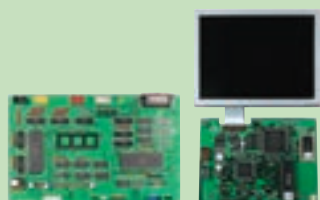
この結果、売上高は131億26百万円（同18.4%減）、セグメント利益は14億14百万円（同7.1%増）となりました。

対処すべき課題と通期の見通し

売上高 31,000 百万円
セグメント利益 2,300 百万円

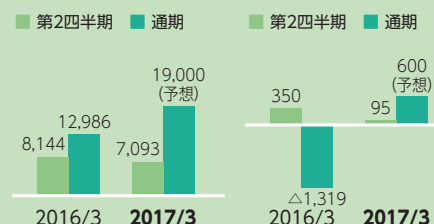
引き続きCRユニット「VEGASIA」の販売促進を行うとともに、市場評価の高い「BiGMO PREMIUM」の継続した販売活動及び、平成28年5月に正式リリースした新型情報公開端末「REVOLA」の販売により、売上高310億円(前期比9.0%減)を見込んでおります。また、次世代製品開発に関しましては、積極投資を継続し、早期リリースを目指してまいります。

制御システム事業



売上高
7,093 百万円

セグメント利益
95 百万円



当社が開発に携わった機種の販売台数が好調に推移いたしました。パチンコ遊技機メーカーの販売計画が変更となったことで、複数機種が下期以降にずれ込んだため、表示ユニットの販売台数が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、売上高は70億93百万円（前年同期比12.9%減）、セグメント利益は95百万円（同72.9%減）となりました。

売上高 19,000 百万円
セグメント利益 600 百万円

パチスロ遊技機の販売機種数の増加や発売時期がずれたパチンコ遊技機の販売等により、売上高は190億円(前期比46.3%増)を見込んでおります。引き続き遊技性での差別化とコスト削減を目的とした開発工程の見直し、新機種開発の獲得に向けた企画提案の推進により、業績の向上に努めてまいります。

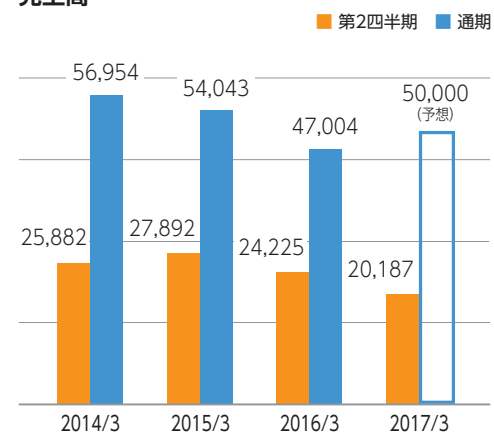
03 財務データ

第2四半期連結損益計算書(要旨)

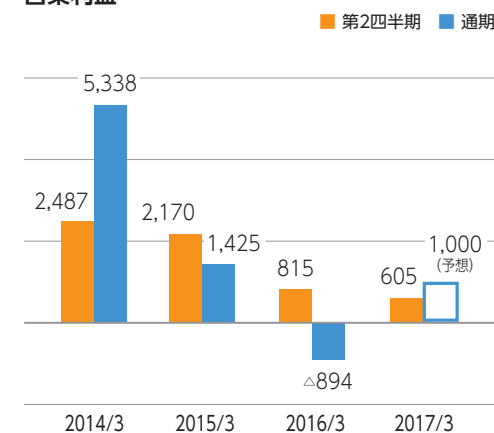
科 目	当第2四半期 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで	前第2四半期 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで	前期 2015年4月 1日から 2016年3月31日まで
売上高	20,187	24,225	47,004
売上原価	12,654	16,267	32,734
売上総利益	7,532	7,957	14,270
延払販売未実現利益戻入	—	9	9
差引売上総利益	7,532	7,966	14,279
販売費及び一般管理費	6,926	7,150	15,174
営業利益	605	815	△894
営業外収益	140	116	222
営業外費用	40	26	76
経常利益	706	905	△749
特別利益	—	1	1
特別損失	63	25	420
税金等調整前四半期(当期)純利益	642	881	△1,168
法人税、住民税及び事業税	185	46	39
法人税等調整額	127	413	468
四半期(当期)純利益	329	421	△1,676
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	329	421	△1,676

(単位：百万円、単位未満は切捨て)

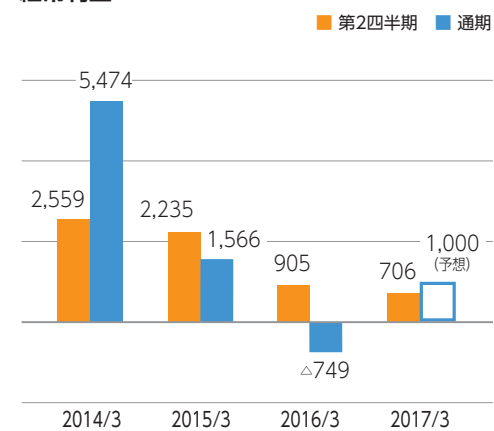
売上高



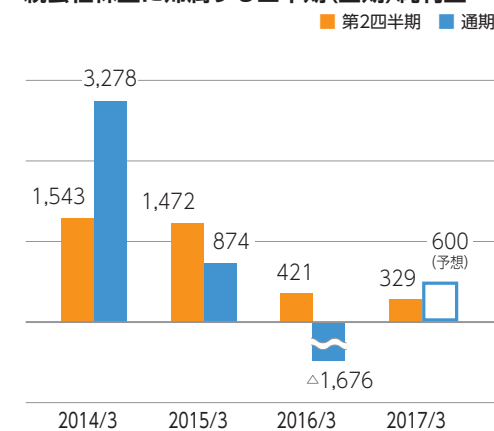
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

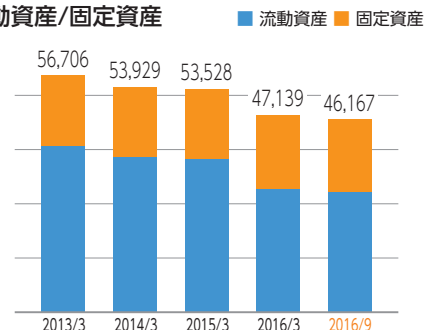


(単位：百万円、単位未満は切捨て)

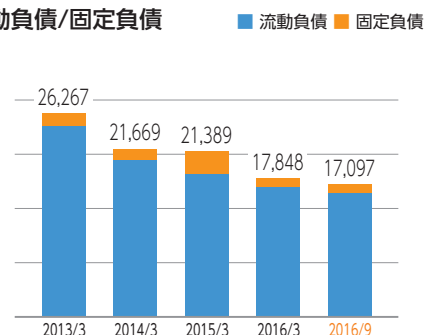
第2四半期連結貸借対照表(要旨)

科 目	当第2四半期末 2016年9月30日現在	前第2四半期末 2015年9月30日現在	前期末 2016年3月31日現在
資産の部			
流動資産	28,670	33,224	29,582
固定資産	17,497	17,867	17,557
有形固定資産	10,120	10,288	10,249
無形固定資産	2,902	2,263	2,710
投資その他の資産	4,474	5,315	4,596
資産合計	46,167	51,092	47,139
負債の部			
流動負債	15,902	18,513	16,676
固定負債	1,194	911	1,171
負債合計	17,097	19,424	17,848
純資産の部			
株主資本	29,297	31,806	29,560
資本金	674	674	674
資本剰余金	680	680	680
利益剰余金	27,945	30,453	28,207
自己株式	△1	△1	△1
その他の包括利益累計額	△227	△139	△268
純資産合計	29,070	31,667	29,291
負債純資産合計	46,167	51,092	47,139

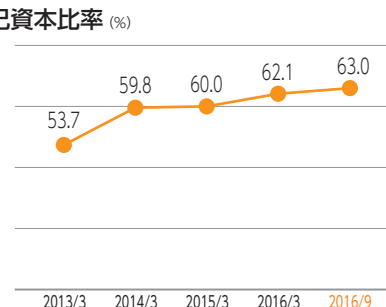
流動資産/固定資産



流動負債/固定負債



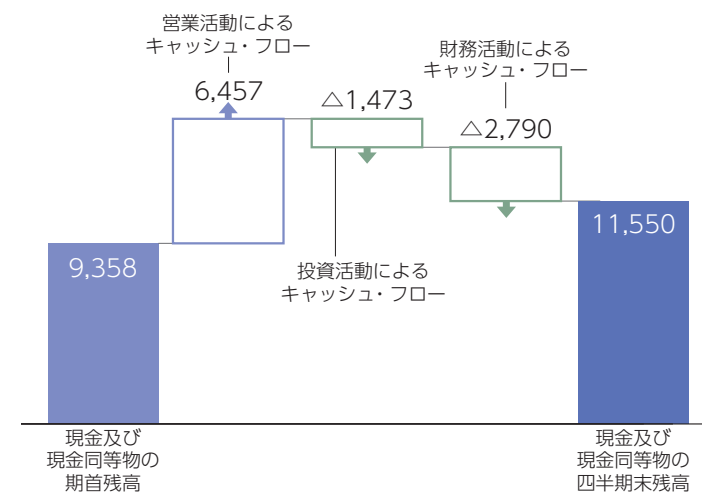
自己資本比率(%)



第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当第2四半期 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前第2四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	6,457	△2,387	△4,710
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,473	△1,308	△2,511
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,790	△1,086	4,065
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,192	△4,781	△3,156
現金及び現金同等物の 期首残高	9,358	12,515	12,515
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	11,550	7,733	9,358

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要



05 トピックス

新製品の発表、展示会やセミナーの開催など ダイコク電機の「今」をお伝えします。

NOW 展示会&セミナー「MIRAIGATE2016 SHINE ON THE FUTURE」



2016年5月20日の名古屋会場を皮切りに、福岡、大阪、東京の全国4会場、延べ6日間にわたりダイコク電機展示会&セミナーを開催しました。

今回の展示会では、「ファンが遊技する機種数を増やす」「遊技客数を増やす」「セキュリティの強化」「効果的な機種活用」の4項目が業績の維持・向上に必要であることを提案しました。

メイン展示として新製品である台毎液晶端末「REVOLA」を特大パネルで多数展示し、きらびやかに光らせアピールしました。

管理の一元化を提案する「オールインワンZONE」では、当社のホールコンピュータの良さを体感、再認識いただくことで他メーカーには到底真似できない製品であることを実感していただくことができました。

新サービス「DK Wi-Fi」の展示では、当社のスマートフォンアプリ「パチロボ」との連携により遊技台や他台のデータがリアルタイムで閲覧できる業界初の機能や、ファンが遊技中に気になる台をチェックしておくとき空き台になったときに通知してくれる機能など、今後の集客・増客・会員サービスの要となるサービスであることをアピールしました。

感情認識パーソナルロボットPepperとのセキュリティ連動展示などの参考出品エリアにもたくさんのお客様が興味を示していました。

過去最高だった昨年の展示会を上回る1,008企業、3,069名ものお客様にご来場いただき、非常に活気あふれる展示会となりました。

今後もダイコク電機の総力を結集し、製品開発により一層注力してまいりますので、どうぞ皆さまご期待ください。



NOW DK-SIS白書2015発刊

このたび当社は創刊から数えて13冊目となる「DK-SIS白書2015」を発刊いたしました。本書は、市場シェアの31%にあたる142万台分もの膨大なホールの営業データを日々集計・分析し、1年分の情報を集約したものです。

本書では、パチンコ遊技機の撤去回収問題やパチスロ遊技機の規制強化など、厳しい状況下における対応を誤ると業績面において非常に大きな差となることを注意喚起し、今後も勝ち残るためには大きく変化する市場動向をいち早く察知し、変化に見合った改革を続けることが必要であることを伝えております。

市場の変化に対応するためのツールとして、DK-SISならびに本書がホール経営企業の皆さまの一助となることを願っております。

NOW DAXEL株式会社製パチスロ遊技機



DAXEL株式会社より「パチスロ ウィッチクラフトワークス」を2016年11月に発売しました。

市場で記録的な実績を残した「パチスロ 百花繚乱サムライガールズ」のゲーム性と、膨大なデータ分析により導き出された最適解の出玉バランスが「ウィッチクラフトワークス」と完全リンク！

連続演出で敵に倒されてもその後のストーリーが展開し、幾度もバトルに突入するアニスロならではの「クライマックスバトル」は必見です。



©DAXEL・DAXEL/パチスロ遊技機開発委員会
あんぱんぱんぱん/GOOD SMILE COMPANY

NOW 「名証IRエキスポ2016」に出展

2016年7月15日（金）・16日（土）の両日、名古屋市中企業振興会館（吹上ホール）にて行われた名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2016」にブース出展いたしました。今回で連続13回目の出展となるこのイベントは今年も盛況で、2日間で8,200名もの来場者がありました。

当社ブースでは面談形式で当社の説明をさせていただきました。今年も約250名の皆さまに当社についての説明を聞いていただき、株主や個人投資家の皆さまとのコミュニケーションの場として大変有意義な出展となりました。

今後も継続的なIR活動により、当社の知名度・認知度の向上に努力してまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



会社概要

商号 ダイコク電機株式会社
DAIKOKU DENKI CO., LTD.
創業 1965年 9月
設立 1973年 7月
資本金 6億7千4百万円
(発行済株式総数14,783,900株)
本社 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号
従業員数 (単独)475名 (連結)668名
事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売
パチンコ遊技機用ユニット・パチスロ遊技機の開発・製造・販売
決算期 3月31日
事業所 4事業所、4支店、13営業所
関係会社 元気株式会社、DAXEL株式会社
ダイコク産業株式会社、アロフト株式会社

役員

代表取締役会長	栢 森 雅 勝
代表取締役社長	栢 森 秀 行
代表取締役専務	栢 森 健
常務取締役	根 本 弘
取締役	大 上 誠一郎
取締役	栢 森 啓
取締役	武 田 邦彦
取締役	足 立 芳寛
常勤監査役	伊 東 幹夫
監査役	村 橋 泰志
監査役	田 島 和憲
監査役	知 念 良博

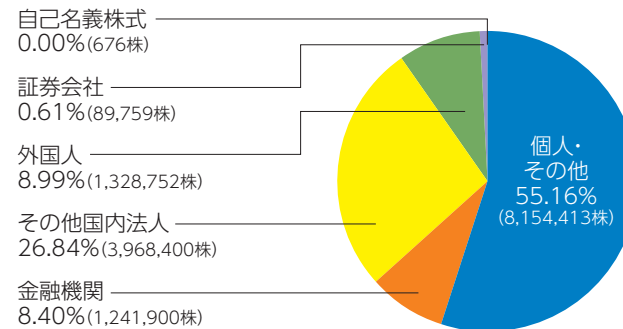
(注) 1. 取締役 武田邦彦氏、足立芳寛氏は社外取締役であります。
2. 監査役 村橋泰志氏、田島和憲氏、知念良博氏は社外監査役であります。

株式の状況

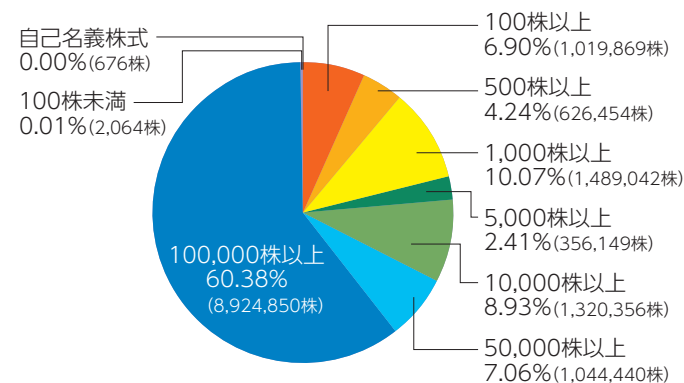
発行可能株式総数 66,747,000 株
発行済株式総数 14,783,900 株
株主数 10,072 名

株式分布状況

所有者別



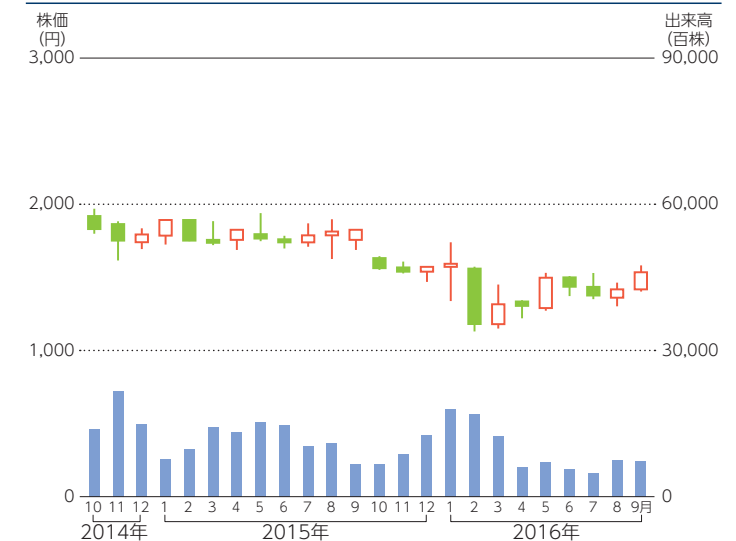
所有株数別



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
栢 森 健	1,772,200	11.98
栢 森 雅勝	1,045,650	7.07
栢 森 秀行	961,000	6.50
栢 森 美智子	926,000	6.26
栢 森 寿恵	887,000	5.99
栢 森 和代	766,000	5.18
公益財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
栢 森 新治	443,450	2.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	324,900	2.19
ピーエヌワイエムエル ノン トリーティー アカウント	301,200	2.03

株価及び出来高の推移



■ 電子メールによる当社IR情報の配信

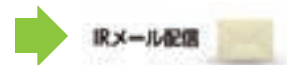
当社は、投資家の皆さまへ電子メールによるIR情報配信サービスを提供しております。ご登録いただいた皆さまには当社ホームページ(<http://www.daikoku.co.jp>)に新しい情報が掲載されたことをお知らせします。

IR情報配信サービスをご希望の方は、当社ホームページにアクセスした後、「IRメール配信」ボタンから、簡単にご登録いただけます(無料)。

www.daikoku.co.jp/ir

ダイコク電機 IR

検索



IRメール配信

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日

定時株主総会 6月下旬

基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要があるときは、
 あらかじめ公告いたします。

一単元の株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
 名古屋市中区栄三丁目15番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
 電話照会先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
 本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告によります。ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告のホームページアドレス <http://www.daikoku.co.jp>

配当金受取方法等について

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

*確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

株主さまのご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施にともない、株主さまのご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主さまのご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株券電子化後の配当金受取方法のお取扱い

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主さまの保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となりました。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問い合わせください。

株主優待のご案内

■ 対象となる株主さま

毎年9月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された100株以上保有の株主さま

■ 優待内容及び贈呈時期について

対象となる株主さまへ保有株式数、保有年数に応じたポイント(1ポイント1円相当)を毎年10月下旬に贈呈いたします。そのポイントを株主さま限定のウェブサイト「ダイコク電機プレミアム優待倶楽部」において、約600種類の厳選された優待商品の中から好きな商品(食品、ワイン、電化製品、当社オリジナルグッズ等)に交換できます。また、社会貢献活動への寄付もお選びいただけます。

■ 保有株式数と贈呈ポイント数

保有株式数	贈呈ポイント数	
	初年度	1年以上保有 ※
100~299株	3,000ポイント	3,300ポイント
300~499株	6,000ポイント	6,600ポイント
500~699株	12,000ポイント	13,200ポイント
700~999株	15,000ポイント	16,500ポイント
1,000株以上	20,000ポイント	22,000ポイント

※1年以上保有(9月末日現在の株主名簿に同一の株主番号で連続2回以上記載されること)

■ ポイント繰越有効期限について

ポイントの繰越有効期限は3年です。繰越したポイントを次年度に使用する場合は、同一の株主番号で当社株式を継続保有していただく必要があります。

※全株式を売却もしくは名義変更された場合、権利確定日において繰越されたすべてのポイントは無効となります。

■ 株式保有期間について

2015年より毎年9月末日の権利確定日ごとに保有期間1年とみなし、カウントいたします。保有期間は株主番号で管理いたしますので、同一の株主番号で継続保有していただく必要があります。

■ お申込み方法について

株主さま宛てに毎年10月末に発送するハガキをご参照ください。